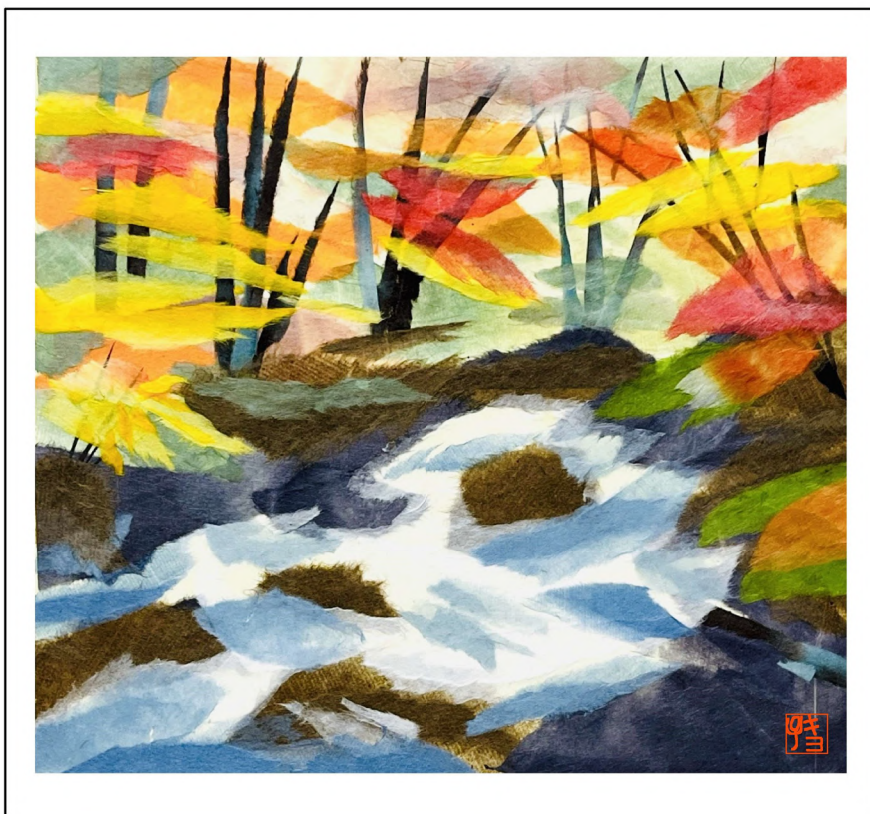


# 婦人会報

令和六年  
9月2024年  
立教187年



天理教婦人会旭日支部

通巻543号

諭達第四号発布を戴いて

## 諭達の中のお言葉を説明しよう

～お言葉の意味を知ってる?～ vol.8



### てびき

私たちようぼく、あるいは私たちの親々は、身上・事情の節を頂いて、この教えの道に引き寄せられました。これを、お道では「てびき」といいます。手を引いて教え導くという意味です。

てびきをされたのは、ほかならぬ親神様・教祖です。人生を歩いていくうえで、親が子供の手を引くように、確かな拠り所となる生き方を教えて「陽気ぐらし」という真に幸福な道へとお導きくださっているのです。

### 一れつ兄弟姉妹

天理教では、親神様は全ての人間をお創り下された親なる神様であり、親神様と人間の関係は親と子と教えられています。したがって世界中の人間は皆、国や言語が異なっても兄弟姉妹であり、他人という者は一人もいないとお教え下さっています。一人ひとりの身体は、親神様からお借りして、親神様のご守護を頂き暮らしているのです。

一れつ兄弟姉妹が、互いに立て合い、たすけ合って陽気ぐらし世界を建設することが、親神様の思召であります。

# 教会

教会には、親神様目標（めどう）と教祖目標と、歴代会長、ようぼく・信者の霊が祀られています。おぢばと教会は「息一つのもの」と教えられるように、おぢばの理を戴き、朝夕のおつとめ、月次祭をつとめます。

教会は、親神様の思召を伝え広めるたすけ一条の道場であり、それぞれの地域社会における陽気ぐらしの手本雛形と教えられています。教会に寄り集うようぼくは、常に人をたすける心を培い、実働に励むとともに、信仰の喜びを分かち合い、一手一つにたすけ合っていくことが大切です。日頃は、それぞれ教会に参拝し、親神様・教祖に心を繋ぎましょう。

## ひのきしん

親神様のご守護に感謝をささげる自発的な行為が「ひのきしん」です。一般的には、寄進は「社寺などに金銭・物品を寄付すること」（『広辞苑』）を意味しますが、天理教ではどんな人でも日々の生活の中で実行できる親神様への報恩感謝の行いを言います。真実の心一つで、だれにでもできるものです。日々元気に何不自由なく体を使わせて頂ける喜び。今日一日無事に結構に過ごさせて頂いた喜び。親神様に生かされているありがたさ。その喜びと感謝の心から生まれる行動は、どんなことも全部「ひのきしん」です。そこに込められている心が大切なのです。ぢばに伏せ込むひのきしん（おやさとの伏せ込みひのきしん）や、それぞれの教会での御用をはじめとして、広く職場や地域社会で人の役に立つ活動など、その表れ方はさまざまです。

いずれも、親神様への感謝の心を根底に置いた、親神様にお喜びいただきたいという行為です。人が見ていようといまいと、たゆまず積み重ねる真実の実践を、親神様がお受け取りくださるとともに、知らずしらずのうちに自分自身の心のほこりが払われ、勇みがわいてきて、運命が明るく開けていきます。

参考文献：「天理教用語辞典」養徳社、「ようぼくハンドブック」天理教道友社、  
天理教HP、天理教婦人会HP、「おしえて、おしえて！」奈良教区婦人会

◎次回は諭達6ページ目のお言葉について紹介させていただきます。



# 委員部長後継者及び 教会子弟夫人講習会開催

八月二十五日（日）午後一時過ぎから会議室にて「夫婦について教えから学ぶ」をテーマに開催させていただきました。

最初に支部長様からご挨拶をいただきました。参加者一人ずつ「結婚の決め手」についてトークし、天理教事典に表記されている「夫婦」「結婚観」を資料として作成したものを読み合わせました。



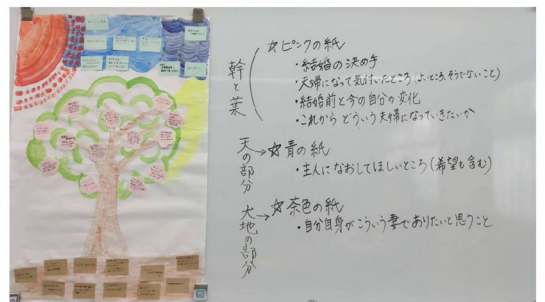
✿ 有意義な時間を過ごさせていただきました ✿



「夫婦」「結婚観」に関していくつか挙げた項目についてそれぞれ思う事を色分けした紙に書いて、模造紙に描いた木の絵に貼り付けてもらい完成したものを共有しました。

同日開催された、教会子弟おつとめ勉強会総合練習までの短い時間ではありましたが、今回の勉強で自分を見つめ直し、夫婦についてあらためて考える機会を得て、参加者が今後の歩みへ活かしてくださるよう願っています。

参加者 6名  
後継者係 4名  
託児 6名  
託児ひのきしん 2名  
(後継者係記)



## 参加者の感想

- ♥ 夫婦について改めて考えさせて頂く時間になりました。普段からもう少し、お互いに話し合い、夫婦で一つ一つになれるよう成人していきたいと思いました。
- ♥ 結婚しているといろんな事が当たり前になりますが、改めて相手を大切に思う気持ちを言葉や態度に表したいです。



少年会旭日団  
第89回



# あさひ キャンプ

8/4(日)～8/6(火)



薪を割ったり、自炊もしたよ



少年会員24名 スタッフ29名



京丹後にある、「旭日錬成の広場」で、暑さにも負けず、楽しんできました☆



釣れた！！

## 第6回 教会子弟おつとめ勉強会

8月25日、大教会の教会子弟の取り組みとして、教会子弟おつとめ勉強会が開催されました。22名の教会子弟が参加され、一生懸命おつとめを学ぶ姿が見られました。



琴



三味線



小鼓



一手一つに♪



頑張った後は、お楽しみの時間☆



旭日大教会、創立130周年に向かって  
一周年ごとに整備されていく大教会一



〈平成17年3月創立110周年前〉



平成17年3月 神殿前の築山  
(蘇鉄と庭石) 撤去

平成17年5月29日  
創立110周年では  
1000人の総立ち  
がつとめられ、  
神殿前にテント  
が張られました



平成20年2月 西納屋解体始まる



大教会、本部、教区行事の時に  
駐車場として活用される

西納屋が解体さ  
れ、西駐車場兼  
グラウンドとなり  
多くの方に利用  
されております



〈平成26年10月創立120周年前〉  
東駐車場の築山撤去



神殿東側駐車場

築山が撤去され  
創立120周年に  
は テントを  
張って直会会場  
になりました



平成26年10月黒門扉改修と塗装



平成27年4月5日創立120周年  
記念祭執行

改修され門扉の  
開閉が軽くなり、  
事故防止のため  
道路の様子が見  
えるようになりました

# 十月例会案内

日時 十月五日(土) 午前十時  
 場所 旭日大教会  
 内容 教祖祭

お願いづとめ

ておどり(後半下り)

おふでさき拝読

お話(おふでさき 第十七号より

吉日委員部 奥村はる恵)

昼食

## 女子青年例会案内

日時 9月15日(土) 10時30分  
 場所 旭日大教会  
 内容 霊祭後のコーヒーコーナーひのきしん



天理教婦人会旭日支部第九十回総会御案内  
 日時 令和六年十二月一日(日)  
 場所 旭日大教会

※式典後、バザーを開催いたします。  
 ご協力よろしくお願いいたします。

## 十月例会役割

扈者	庄司 英美	奥村はる恵
賛者	山本ひとみ	村井みちよ
指図方	松田 和代	
地方		後半
〃		
笛		
ちゃんぽん		
拍子木		
太鼓		
すり鉦		
小鼓		
琴		
三味線		
胡弓		

## 九月月次祭炊事当番

教会	斑鳩	天與
係員	荻原 知美	松田 梅乃

◇午前九時までにエプロン三角巾を持参の上お越し下さい。

## 九月月次祭託児ひのきしん当番

教会	家城	
係員	関一紗	

◇午前九時十五分より祭典終了までです。



# 楽しめば楽しむ理ある

楽しめば楽しむ理ある。一つ楽しんですれば  
一粒万倍にも返す理である。

(おさしづ 明治36年9月18日)



発行日 令和六年九月五日

発行者 岡本道子

発行所 天理市田井庄町一二八  
天理教婦人会旭日支部